



[IMG 4124](#)  
代表小川志津子さん

下田市の小川志津子さん(60歳)は居場所づくりのボランティアグループ「遊・VIVA！（あそびば）ネットワーク」を立ち上げ14年目になります。小川さんは下田に生まれ首都圏に出て結婚、5人のお子さんを育て上げられました。5人目のお子さんを授かった頃、故郷に戻り、下田市には放課後でも雨の日でもみんなが集まれる居場所である児童館が無いことを知りました。子供たちが安心して過ごせる場所が欲しいと市に要望したものの受け入れられず、それでは先ず児童館とは何かを知ってもらうことを目的に一日移動児童館を始めたところ、予想以上に好評を得ました。そこで市が児童館を開設してくれるまでは自分達で出来る限り活動を続けようと思ったものが今まで続いています。

当初のメンバーのほとんどは既に子育てを卒業し、仕事をしたり親の介護をする時代に移っています。そのような中でお年寄りも気軽に集える「やね」の活動やカブラ®ブロックの出張体験講座など多彩な活動を繰り広げておられます。



[IMG 4087](#)  
居場所「やね」の会場



[IMG 4088](#)

「遊・VIVA！」を支えるボランティアは19名です。主にお年寄りの人との関りを促す活動「やね」は毎月第一水曜開催。メンバー半田さんの自宅が会場になっています。



[IMG 4096](#)



[IMG 4093](#)

取材の日はお正月に因んで、ことわざカルタ取り、坊主めくり、トランプなどを楽しみました。



[o0500066613841368069-001](#)

赤い羽根共同募金から助成を受けているため参加費無料ですが、ゆっくりお茶をしながら色々情報交換ができます。この日のおやつはホットケーキミックスにあんこなどが乗った「遊・VIVA！焼」でした。メンバーの皆さんの「楽しんで欲しい」との気持ちが伝わります。



[IMG 4110](#)



[IMG 4114](#)

おやつが出る頃には子供達も集まり、雰囲気も一層やわらぎます。世代を超えての交流はとても良いことのように思えます。



[IMG 3898](#)



[IMG 3960](#)

遊・VIVA！ネットワークの活動の柱のもう一つは積み木「カプラ®ブロック」です。フランス生まれの「カプラ」は縦横高さが1:3:15の薄い木の板です。同じ大きさ・形の板を積んで色々なものを作ります。崩さないように積むには微妙な力加減と集中力が要求されます。小学校に出向いて体育館などで子供達に体験してもらおうことが多いそうですが、写真のようにシニアサロンにも出張してくれます。



[IMG 3996](#)



[IMG 4009](#)

「カプラ」は高く積む競争をしたり、皆で街を作ったりする喜びと共に最後に思い切りよく崩す楽しみがありとても興奮します。

「放課後の子供達に安心な居場所を！」で始まった小川さん達の活動は「今日も誰とも話をしなかったと言うお年寄りを減らしたい。」との思いにも広がっています。小川さん達は昨年改めて児童館の設置を市長に直訴、議員さんにも働きかけをされているそうです。

生きがい特派員 賀茂地区担当 福居通彦

[遊・VIVA! 通信](#)